

■第2次横手市総合計画総括評価シート

政策	評価視点	評価点 (5・4・3・2・1)	意見等
【政策1】 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます	取組の方向性	3.6	・保育に関しては、一時的な給付よりも、保育料と副食費の完全無償化を期待する。 ・健康な心と体づくりの推進では、働き盛り(＝ゆらぎ期)にも目を向けてほしい。 ・健診は土日も受診できると良い。また、現状よりも予約健診の種類を増やしてほしい。 ・障がい特性を正しく理解し、社会で支え合える地域づくりにつながるような情報発信を願っている。
【政策2】 学びの充実とスポーツ(・芸術文化)の振興により、生きる力と豊かな心を育みます	取組の方向性	3.3	・不登校支援の拡充やサードプレイスの充実は、将来のひきこもりを減らせるのではない。 ・スポーツ立市とうたいながらスポーツ施設が不十分である。特に学校施設の改善に配慮してほしい。 ・市のスポーツ大会は若い方の参加が少なく、毎回決まった方が参加している感じがする。 ・スクールバスの運行には満足。
【政策3】 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます	取組の方向性	3.5	・雪害に対し、もっと力を入れてほしい。また、人口減に対し、それを受け入れたうえでの対策を望む。 ・有害鳥獣対策にもっと力を入れてほしい。 ・地域の婦人会が高齢化しており、防災に係る女性の仕組みも進化すべきである。 ・災害時の福祉避難所の設置も必要だと考える。
【政策4】 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります	取組の方向性	3.4	・近隣市町村と商工業の連携をとる要素がもっとあると良い。 ・起業から伴奏型支援まで手厚い内容で、起業という選択が生まれやすい環境だと思う。 ・新規就農者が長く定着できるような見守り、手助けが必要。 ・新規就農者や工業従事者の増加には、小中高と切れ目のない情報発信や職場見学、体験等の充実と、実業高校との連携が必須と考える。
【政策5】 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます	取組の方向性	3.5	・雪国に暮らす市民にとって重大な関心事である。高齢化や過疎化が進む中、ニーズをくみとったサービスを考える必要がある。 ・人口減少が見込まれるが、インフラ整備は最優先する必要がある。 ・高齢者への公共交通の補助も大事だが、例えば高校生などにも補助してはどうか。遊びに出てもらうのも大事だと思う。 ・地域の環境の維持について、今は共助ではなんとかこなしているが、これからは共助できる人そのものがいなくなる地域も多いと思う。
【政策6】 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます	取組の方向性	3.4	・男女共同参画、ダイバーシティに関する事業も周知、推進されており、今後も連携を図りながら進めてほしい。 ・応援人口を増やす取組を増やしていきたい。 ・Y2ぶらぎに子どもが遊ぶコーナーがあるが、その他の地域には無い。各地区交流センター等にも子どもたちの居場所を作してほしい。 ・移住支援や奨学金支援の中に税の減免を取り入れたほうが移住が多いと考える。
【政策7】 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます	取組の方向性	3.5	・成果重視の方向に沿って努力が続けられていると思うが、まちづくりアンケートの市民満足度はまだ厳しい。引き続き努力をお願いする。 ・ネーミングライツのさらなる活用を期待する。 ・あまり短期で配属換えをしないでほしい。職員の温度で対応が変わっているように感じる。 ・職員の人材育成の反省と総括は必要と考える。

【評価視点の基準】

- 「5点：特に良好」・・・非常に優れており、引き続きこの方向性で良い。
「4点：良好」・・・やや優れており、概ねこの方向性で良い。
「3点：妥当」・・・標準的である。
「2点：見直し検討」・・・一部において不十分であり、部分的に見直し検討を要する
「1点：要改善」・・・多くの点において不十分であり、見直しを要する

取組の方向性・・・各施策の実施状況から、その有効性や手法の妥当性を客観的に評価